

## 【みんなで朝ごはん事業】 検討会における意見とまとめ(案)

	課 題	検討会意見
1	運営の担い手の確保方法	<p>■担い手の確保方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前日の買い出しや、早朝に準備ができる担い手がいるのかが課題。</li> <li>・継続できることを前提に、各地域に気持ちよく受けていただける担い手がいるかが課題。</li> <li>・学校ボランティアの確保も難しいなかで、担い手がいるのか疑問。</li> <li>・ボランティアのまとめ役が必要。</li> <li>・ボランティアのリーダーになってくれる人が見つかるかが課題。</li> <li>・地域づくり協議会で担える余力があるか疑問がある。</li> <li>・いま地域で活動している人や役を担っている人は、色々な場所で活躍している。だが、高齢化が進み、若い人が続いていない。どの団体の活動もそうだが、どのように継続していくのかが課題。</li> <li>・地域づくり協議会や組織・団体、サロン(福祉委員)、PTA、学校活動のボランティア(裁縫・読み聞かせ等)、食育に興味ある個人・団体などに働きかける。</li> <li>・事業の趣旨を理解したうえで、自主的に手を挙げる方に協力してもらおう。(一般公募)</li> <li>・実施する小学校を先に決めたとうえで、その地域内で担い手を探したほうがよいのではないか。</li> <li>・すでにある組織に依頼するのか、有志を募るのか。</li> <li>・続けていくためのモチベーションの確保方法が課題。</li> </ul> <p>◇担い手に係る留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手にどこまで役割を担ってもらうか。大きな負担とならない役割分担が重要。 (実施回数、簡易なメニューにする、協力者を増やすなど)</li> <li>・担い手の役割を軽くすることが必要。</li> <li>・最低限のルールや条件を示し、担い手ができる範囲の中で実施してもらう。</li> <li>・朝ごはんを習慣化させるには、週2～3回の実施が必要。</li> <li>・行政主導では「やらされ感」につながり、長く続かない。自主的に取り組んでもらうことが大切。</li> <li>・事業自体の管理者は誰になるのか。責任の所在は課題。</li> <li>・ある程度の担い手の人数が確保できるか疑問。できないと、個々の負担が大きくなる課題がある。</li> <li>・担い手にやりがいを感じてもらうことが大切。</li> <li>・自ら会場まで来ることができる方であることが必要。</li> </ul>



ま と め
<p>■担い手の確保方法</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>確 保 方 法：地域の団体や住民を中心に担い手を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の団体又は個人への声かけ</li> <li>○交流センター活用団体や地域づくり協議会加入団体、ボランティア団体等への説明会の実施 など</li> </ul> <p>実 施 回 数：週1回</p> <p>担い手の人数：5人×4班＝20人 (おおむね月1回の従事で運営できる人数)</p> </div>

	課 題	検討会意見		ま と め
2	提供場所の確保	<p>■提供場所をどこにするか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の家庭科室。</li> <li>・小学校に隣接する交流センター。</li> <li>・公共施設や企業やお店はどうか。</li> <li>・学校の近くの公共施設でも良いのではないかな。</li> <li>・前日の搬入や準備など出入りしやすい場所が良い。</li> </ul> <p>◇提供場所選定にあたっての留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の設備で十分か疑問。季節によってはエアコンが必要になる。</li> <li>・鍵の貸し借りなどを考えると、施設の管理者と担い手の信頼関係が必要。</li> <li>・学校で実施する場合、セキュリティ解除ができるか確認が必要。</li> <li>・集団登校ができなくなるが、安全確保ができるか疑問。</li> <li>・交通ボランティアへ協力の呼びかけが必要。</li> <li>・参加する児童同士が「ミニ集団登校」をする方法もある。</li> <li>・希望児童が多かった場合、食事をとるスペースがあるかが課題。</li> <li>・食器や食材、備品を管理する場所があるか。</li> </ul>	➡	<p>■提供場所をどこにするか</p> <div>                     小学校(家庭科室など)                 </div>
3	食材等の調達方法	<p>■食材はどうするか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農家や企業、地元スーパーに寄附を依頼する。</li> <li>・フードバンクを活用する方法もある。</li> </ul> <p>◇食材の調達にあたっての留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄附される食材は、調理しやすく、日持ちするものであることが必要。</li> <li>・保存や調理方法を考えたうえで調達することが必要。</li> <li>・担い手の調理の手間を軽くするため、インスタント的な食品を活用することも必要。</li> <li>・処理できない食材(質・量)が提供された場合はどうするか課題。</li> </ul>	➡	<p>■食材はどうするか</p> <div>                     補助金(交付金)で担い手が食材を購入することを基本とし、地元農家やスーパー等への協力も依頼する。                 </div>
4	備品、食器類等の確保	<p>■事業を始める際に必要な、備品や食器はどうするか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できるならば学校備品を活用したい。</li> <li>・事業を始めるのに、鍋や冷蔵庫など、ある程度の初期投資が必要。</li> <li>・スタート時は、市に初期費用の負担をお願いしたい。</li> <li>・市が準備、調整して欲しい。</li> <li>・国や県等で活用できる補助金を利用する。</li> </ul> <p>◇備品、食器類等の確保にあたっての留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校備品の使用にあたっては、学校と使用ルールを決めておく必要がある。</li> <li>・学校によって、食器や備品、調理器具などの設備が違うのではないかな。</li> </ul>	➡	<p>■事業を始める際に必要な、備品や食器はどうするか</p> <div>                     小学校にある既存の設備、備品等を活用することを基本とし、不足する備品等は、市が支援する。                 </div>

	課 題	検討会意見		ま と め
5	教育委員会及び学校との調整	<p>■教育委員会及び学校と調整する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の開錠やセキュリティの解除ができるか課題。</li> <li>・前日の搬入や仕込みが可能か、確認や調整が必要。</li> <li>・食材を保管できるスペースがあるのか疑問。</li> <li>・光熱水費は誰が負担するのか。</li> <li>・前日の仕込みや当日の片付けなど、学校日課との調整が必要。</li> </ul> <p>◇教育委員会及び学校と調整するにあたっての留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方が実施するなら、学校は協力しやすい。担い手との関係性が大切。</li> <li>・教員にどこまでお願いするか。学校に面倒を見る余裕があるか疑問。</li> <li>・先生に迷惑、負担がかかってしまわないか。</li> <li>・学校の役割を申込書の配布、回収だけにするなど、役割を軽くすることが必要。参加費の徴収を学校に負担させることは難しい。</li> <li>・PTA の理解や協力が必要。</li> </ul>	➡	<p>■教育委員会及び学校と調整する事項</p> <div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設の借用</li> <li>・施設利用の方法(開錠、事業の実施日・時間、備品の使用など)</li> <li>・児童、保護者への説明</li> <li>・参加児童の募集</li> <li>・通学方法(安全の確保)</li> </ul> </div>
6	市の支援の範囲	<p>■市がどこまで支援するか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営には、市の財政的な支援が必要。</li> <li>・行政・地域・学校の、いずれにも大きな負担にならない役割分担が大切。</li> <li>・担い手の負担が大きいと、担い手の確保や続けていくことが困難となる。学校もこれ以上の負担をかけることは難しい。</li> <li>・担い手の負担を軽くするため、メニューや食材調達などに市のサポートが必要。</li> </ul>	➡	<p>■市がどこまで支援するか</p> <div> <p>朝ごはんの食材費及び調理上必要な消耗品費は、市が支援する。</p> </div>
7	個人負担のあり方	<p>■有料か無料か</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食べる家庭が払うことが基本。</li> <li>・1食50～100円程度の有料。作ってもらえることのありがたさを感じさせたい。</li> </ul> <p>◇個人負担のあり方を考えるにあたっての留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的な問題を抱える家庭には、配慮が必要。</li> </ul>	➡	<p>■有料か無料か</p> <div> <p>1食 50 円</p> </div>

	課 題	検討会意見	ま と め
8	その他	<p>■安全衛生面の配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調理師資格までは必要ないが、食品衛生責任者の資格は必要。</li> <li>・アレルギー対応ができるのか疑問。</li> <li>・食中毒などの事故や、担い手がけがを負った場合の対応はどうか。</li> <li>・衛生管理の免許を持っている人の確保が必要</li> </ul> <p>■担い手は有償か無償か</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有償ボランティアとする。(足立区:時間 900 円、社協の「せいかつ応援倶楽部」:時間 500 円)</li> <li>・担い手の考えによるが、有償ボランティアがよいと思う。</li> <li>・有償でなくては人が集まらない。</li> </ul> <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的を「習慣付け」とするならば、それなりの実施の回数が必要になる。まずは、啓発(意識付け)を目的として実施したほうが良い。</li> <li>・朝ご飯を食べにくる児童だけを対象とするのではなく、児童を通じた家庭への啓発も大切。</li> </ul>	<p>■安全衛生面の配慮</p> <div>食品衛生責任者を設置</div>